

「地域学校協働活動推進のための研修」

令和3年6月3日(木) 青森県総合社会教育センター第1研修室 受講者数40人(オンライン含む)

本研修会は、「地域学校協働活動」の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図るための研修です。今回は、特定非営利活動法人まちと学校のみらい 代表理事 ^{たけはら} ^{いずみ} 竹原 和泉 氏を講師にお迎えし、「地域と学校の連携・協働の推進について」と題して、講義・演習をしていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、神奈川県と会場を繋ぐ、オンライン研修の形で実施しました。(会場参加と、web会議システム Zoom によるオンライン参加のハイブリッド研修会)



1 講義

- (1) なぜ、学校と地域が連携協働するのか
- (2) どのような仕組みですめるのか
- (3) 今後必要になる教育と家庭・地域の役割
- (4) 第2ステージに入った地域と学校の関係
- (5) 学校運営協議会の主な役割、
コミュニティ・スクールによる効果
- (6) キャリア教育、カリキュラムと関連づけて考える



講師の竹原さんは、大学で初等教育・社会教育を専攻し、フランス・米国・日本で3人の子を育て、ボランティア活動PTA活動を行い、東山田中学校コミュニティハウス館長を11年間務め、まちづくりの核であり、地域と学校をむすぶ「場」を運営したり、横浜市青葉区青少年の地域活動拠点「あおばコミュニティ・テラス」を運営したりするなど、サードプレイスの提供と中高生の社会参画、地域活動をコーディネートしています。

また、中央教育審議会臨時委員、文部科学省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)、独立行政法人国立青少年教育振興機構評価委員なども現在兼任されております。これまでの経験に加え、**文部科学省コミュニティ・スクール推進員(CSマイスター)**としてのご経験も交えながら、**地域と学校がどのような役割をもって、関係を深めていくのかなど**についてもご講義いただきました。

「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」や、「キャリア教育、カリキュラムと関連づけて考える」等のお話から、地域学校協働活動推進の重要性や今後の方向性について改めて考える機会となりました。



また、**異なった立場の人が、同じ目的のために対等な立場(イコールパートナー)で活動することが協働であり、「一緒にやってみましょう!」を合言葉に、取り組むことが大切**であることも教えてくださいました。漢方薬のようにじわじわと効果が出てくるとのことで、**焦らずにゆっくり着実に進めていくと良いことが分かりました。**

地域学校協働活動の目指すところ、進め方など、具体的な実践事例を踏まえて知ることができました。今後どのように進めていくとよいのか、受講者がイメージしやすいような内容であり、とても参考になりました。

2 演習

文部科学省新学習指導要領でも紹介され、(独)教職員支援機構の研修テキストにもなった「やまっぷ9」の「カリキュラム表」を作成するワークショップを行いました。各市町村の地域学校協働活動の進捗状況を踏まえ、「社会に開かれた教育課程」を進めるに当たって、学校の授業等（カリキュラム）の中に取り入れることができる具体的な取組を付箋に記入し、カリキュラム表に貼りました。そして、現状の把握をした後、今後できそうなアイデアなどをグループで検討しました。

オンライン参加者は2つのグループ（ブレイクアウトルーム）に分かれて、話し合いを行いました。最後に全てのグループから、話し合われた内容を発表し合い、参加者全員で情報を共有しました。

いろいろな立場や地域からの多様な視点や取組について知る機会となりました。また、受講者の業務に直接関わり、事業の課題や学校カリキュラムに組み入れる進め方の参考になる部分が多く、実践につながる部分があったことも大きな収穫となりました。



演習・発表の様子



やまっぷ9（ナイン）



「やまっぷ9」やまた地区のまちのたからMAP



「まちのたから」を学びに活かす9年間のカリキュラム表

3 アンケートから参加者の言葉（一部抜粋）

- ・オンラインでの参加でしたが、講義から演習までとてもスムーズで、時間差や声が届かないこともなく、快適な環境で受講できました。また、ブレイクアウトルームでの演習も問題なく会話ができていました。当町では地域学校協働活動や学校運営協議会を実施していないため、他町の意見を聞くことができ今後の参考になりました。
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進の必要性とその効果について、とても理解が深まりました。今日の内容をぜひ、小・中学校の校長先生方に聞いてもらえるととても一体的推進が推進されるのではないかと思います。
- ・学校のカリキュラムに組み入れることで、活動を継続的に展開することができるシステムがわかりました。地域の人づくりにも貢献しているが、高齢化、固定化、世代交代という課題をクリアしていくための手立ての必要性を感じました。